

校長室から



校長 榊原 正策

校長の榊原 正策（さかきばら しょうさく）です。着任3年目となりました。どうぞよろしくお願いいたします。

令和元年の終わり頃からさまざまな対策・対応を強いられてきた新型コロナウイルスも、今年の5月中には感染法上の第5類に引き下げられ、およそ3年間にわたる学校生活上の制約を解くことができました。

生徒の皆さんは最初のうちは、マスク着用の生活に慣れきってしまったのか、マスクをはずしにくいと感じている人も多いようでしたが、徐々に脱コロナ・脱マスクの生活を取り戻し、活気のある明るい学校生活を送れるようになってきました。

一方、世の中を見渡すと、国と国との争い、大地震や異常気象による災害、デジタルやAIの急速な進化と普及、加速度的な世界のグローバル化、日本の少子高齢化といった事象があり、世情の変化の大きさや速さは、予測が大変困難なものとなっています。

本校では、こうした不透明な時代を力強くたくましく生き抜き、充実した人生を切り拓いていく力を生徒に身につけさせるよう、その基礎となる「学力を伸ばす」「コミュニケーション力を伸ばす」を重点目標に掲げて、教育課程を展開していきます。

この4月には、14名の新しい職員が着任し、入学式では187名の新入生を迎え入れることができました。本校は今、前進意欲に満ちています。生徒が個々の課題に力強く立ち向かい、それを乗り越えてよりよく成長していけるように、本校職員一丸となって支援していきたいと思えます。

保護者・関係者の皆様には、本校職員との共通理解や相互連携を密にして、家庭や地域等の立場から、生徒の学びや育ちを支えていただけたら幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。